

令和4年度

第2回

君津市国民健康保険運営協議会会議録

開催年月日 令和5年2月7日(火)

君津市国民健康保険運営協議会会議録

- 1 開催日時 令和5年2月7日(火) 午後2時00分～3時00分
- 2 開催場所 保健福祉センター1階 集団指導室
- 3 議 題
 - ①令和5年度君津市国民健康保険特別会計予算(案)について
 - ②君津市国民健康保険基金への積立について
 - ③第2期君津市国民健康保険データヘルス計画及び第3期君津市特定健康診査等実施計画の令和4年度年次評価について報告 ①君津市国民健康保険条例の一部改正について
- 4 出席委員 11名
宮 地 辰 彦 磯 貝 弘 一 石 井 治 子 多 田 友 季 子
眞 板 弘 彰 加 藤 美 代 子 齊 藤 敦 能 城 一 哉
石 井 修 藤 田 美 鈴 蒔 田 洋
- 5 欠席委員 5名
大 野 澄 子 鈴 木 周 一 伊 賀 浩 神 由 紀 彦
松 葉 亨
- 6 会議に出席した者の職、氏名
市 長 石 井 宏 子
市民生活部長 茂 田 達 也 市民生活部次長 丸 博 幸
納税課長 笈 川 友 洋
健康づくり課
課長 君 島 恒 洋
健康都市推進室長 寺 北 美 香
国保年金課
課長 開 田 雅 典
国保賦課係長 唐 鎌 孝 行
国保給付係長 鈴 木 裕 子
- 7 公開又は非公開の別 (公開) ・ 非公開
- 8 傍聴者(定員6名) なし

【加藤議長】

ただいまの出席委員は11名で、半数以上で定足数に達しておりますので、ただいまから、令和4年度第2回君津市国民健康保険運営協議会を開会いたします。

なお、本協議会は、「君津市審議会等の会議の公開に関する規則」に基づき、公開しております。

本日傍聴者はありませんが、本協議会の会議録は、後日市のホームページで公開されますのでご了承願います。

それでは、これより議事に入ります。議題①令和5年度君津市国民健康保険特別会計予算（案）について執行部の説明を求めます。

【開田国保年金課長】

— 別紙資料により説明 —

【加藤議長】

ありがとうございました。

それでは執行部の説明が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思います。質疑のある方はお願いします。

【磯貝委員】

出産育児一時金の関係ですけれども、後ほど君津市国民健康保険条例の一部改正の中で触れられると思うところですが、4ページの保険給付費の出産育児一時金が42万円から50万円になるということで、令和5年度は2401万1000円ということで計上しておりますが、何件の見込みで上げたのか。それと42万円から50万円という額についてですけれども、国が全国の正常分娩である場合の出産費用の平均値を元に50万円という額になったんですが、各都道府県によっても額が違ってまして千葉県は47万4000円ぐらいだそうです。お子さんを何人か欲しいと言っても、なかなか子育ての関係でお金がかかるから若い人たちで子供を産めないという方が多いようで、市として、この50万円以外に市単独でそこに上乗せをすとか、子育て支援とか出産支援で考えているものがあれば、お聞きしたいと思います。

【開田国保年金課長】

ご質問ありがとうございます。まず件数の見込みですが、令和5年度は48件で見込んでおります。参考までに、令和4年度の当初予算では41件で、現在までには37件の実績がございます。

それと50万円という額ですが、こちらは令和4年12月15日に国の機関の社会保障審議会医療保険部会において「出産育児一時金の額は令和4年度の全国の出産費用の平均額の推計を勘案し令和5年4月から全国一律で50万円に引き上げるべき」と、このような意見が出されたことで、先ほど申しましたとおり、今後省令が改正されて50万という額がはっきりするということでございます。それで君津市単独で上乗せするつもりがないかという、今のところ国保としてはございません。

【君島健康づくり課長】

君津市独自という部分ですが、国の方でも進めているところですが、これから妊娠をした方、妊娠の届出をして面接を行った方に一時金として5万円、それから出産をした方に子育て応援ということで5万円、トータル10万円の経済的な支援を妊娠時から子育て時に渡って相談支援を行いながら経済支援を行う一体的な支援を行う予定です。こちらの予算につきましては、3月の議会に補正で上げておまして、令和4年4月1日から遡って適用ということで今後も継続していく予定となっております。

【磯貝委員】

ありがとうございました。実は、インターネットで君津市のデータを見ていたら、市の勢いが衰えているのかなと感じることがありまして、平成7年度の人口は9万3615人でして、それが令和4年12月は8万1176人です。それで、出生数が2000年には880人だったのが2021年は444人で約半減しています。これ、このまま行くと、どうになってしまうのか非常に懸念してまして、政策課題として非常に重要な課題だと思います。君津市の第2期子ども・子育て支援計画で2021年の人口1000人当たりの出生率が全国平均は6.57人で君津市は5.45人ということで、1.12人出生率が低くなっています。せめて、平均ぐらいになればいいなと思って見ました。参考までに、広島県の北東部に庄原市という市がありまして、面積が1246平方キロメートルで君津市よりも面積が大きくて財政力指数は0.26で、直近4～5年で大体220人前後、子供が生まれているらしいです。人口が3万2617人で65歳以上の高齢化率44.1%です。

市単独では先ほどおっしゃっていた令和4年度からの出産応援子育て支援金、これは各自治体でやっているでしょうけども、庄原市では、それ以外にもお子さんが生まれると第一子で10万円、第二子に10万、第三子以降は25万円を支給しているそうです。所得制限なしですが3年以上住むという要件はあるようです。あとは、小学校に入学すると3万円、中学校に入学すると3万円など幅広い子育て支援制度を財政力指数が低い中で実施しています。

君津市では物価上昇に伴う世帯への給付も行っているようですが、ぜひ今後の取組の中で参考にさせていただけたらと思っております。

【君島健康づくり課長】

少し補足させていただきますが、市独自という部分で申し上げますと、子育て支援で赤ちゃん応援パック事業という市の単独事業として実施しております。2か月から1歳までのお子さんにおむつとか、おしりふきだとかを選んでいただいて、毎月、御自宅にお届けしながら、見守り支援を行うといった事業も行っております。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

【宮地委員】

事業勘定と直営診療施設勘定で質問がございまして、まず、事業勘定ですが、4ペー

ジ②の保険給付費の推移の傷病手当金がありますが、令和2年度からスタートしたもので、令和2年度は申請が0、令和3年度は5件だったと記憶しています。令和4年度においては給付の額が多く増加しておりますけれども、何件の申請があったかということと、新型コロナウイルス感染症は後遺症で苦しんでいる方もいらっしゃいます。多くの事例だと1週間ないし2週間程度で、回復して傷病手当金の支給が止まるということが大半だと思いますが、後遺症によって就労が出来ず、ある程度長期に亘って受給している方がいらっしゃるのかどうか、お伺いします。

【鈴木国保給付係長】

傷病手当金の今年度の支給実績ですが、1月末までの振り込みの時点で43件、支給金額の合計が197万7321円です。あと、後遺症の話ですが、現時点で国の会議では後遺症による休業は支給対象にならないとなっております。また、現時点までで市の国保加入者の方で後遺症によって休まなければならなかったといった相談は受けておりません。

【宮地委員】

直営診療施設勘定で1点質問がございます。資料7ページ2番の国保松丘診療所の利用状況で、毎年、患者数が若干ながら減少している状況が続いていて、その中で6ページの予算規模において国保松丘診療所の土足化、バリアフリー化を令和5年度に実施するとあります。これは開院日数に影響のない範囲と説明がありましたが、通常どおり開院しながら工事を実施するのか、休診日に工事を実施するのか、一定期間休診をした上で工事を実施するのかお伺いします。

【鈴木国保給付係長】

松丘診療所のバリアフリー化ですが、診療に支障のない時間で行う予定でございます。規模としても大規模に段差を削ったりするのではなく、普段、車椅子で来院している方へ設置と取り外しをしているスロープを常設する工事を予定しておりますので休診は予定しておりません。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

【齊藤委員】

出産育児一時金の件数について質問させていただきますが、令和5年度は48件で、令和4年度は予算規模で41件としておりまして、令和3年度の実績も30件とかなり減少している中で、この48件を見込んだ根拠を教えてください。

【鈴木国保給付係長】

令和5年度の見込み件数ですが、質問のとおり令和3年度の実績が30件と少ない人数ではございましたが、過去3年間は平均で43件と続いておりましたので、それを踏

まえ、プラスアルファというところもありますが、48件を見込んでおります。

【齊藤委員】

ありがとうございます。大体普通考えると昨年度41件のところを42件とか43件くらいかと思いましたので質問いたしました。今後、政府が子育て支援を一所懸命やっていくということもありますから、そういうのを期待した見込み数値ということで了解しました。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

【蒔田委員】

資料3ページの歳出ですが、保険給付費が対前年度で特に増加しておりまして、保険給付費の内訳を4ページで拝見しますと、やはり療養給付関係の給付費が高い割合を占めており、負担が高くなっているところがございます。令和5年度では歳出を抑制する施策等、どのようなことを予定されているか教えてください。

【鈴木国保給付係長】

抑制するための施策として、予防を重要と考えておりますので、健康診断の受診率を向上させるというところで、重点としては受診勧奨のほうに力を入れていきたいと思っております。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

それでは、質疑もないようですので、引き続きまして、議題②君津市国民健康保険基金への積立について執行部の説明を求めます。

【開田国保年金課長】

— 別紙資料により説明 —

【加藤議長】

ありがとうございました。

それでは執行部の説明が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思います。質疑のある方はお願いします。

それでは、質疑もないようですので、引き続きまして、議題③第2期君津市国民健康保険データヘルス計画及び第3期君津市特定健康診査等実施計画の令和4年度年次評価について執行部の説明を求めます。

【開田国保年金課長】

【加藤議長】

ありがとうございました。

それでは執行部の説明が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思います。質疑のある方はお願いします。

【眞板委員】

質問ですが11ページの⑥番ところです。先ほどAIを使って対象者を絞って受診を勧めたということですが、具体的の何を基準に決めていったのか、対象者を絞ったのか教えてください。

【鈴木国保給付係長】

委託業者に前年度までのデータを渡しまして、例えば、全く健診を受けていない方、数年前には受けたけど今は受けていない方などの色々なパターンに応じたハガキを作成して、その人に受けていただきやすいような内容で送っております。

【開田国保年金課長】

ハガキの種類は大体8パターンぐらいそれで、今担当から説明しましたとおり全く受けてない方と、昨年たまたま受けなかったんだけど今までずっと受けてこられた方でレイアウトを変えることによって、より効果があるという考えです。そのほかにも、頑張り屋さんとか、甘えん坊さんとか、いろんなタイプを御用意しておりまして、受診者の性格に応じてレイアウトを変えることによってより効果、また先ほどの説明の中にもありましたけど、上総地区の方の受診率が低いため上総地区バージョンもごございます。こういったものをうまく使って受診率を高めていきたいというふうに考えています。

まだこれを導入して2年目でまだはっきりしたですね効果というのが出てないところですけども、業者には3年4年とやっていると、受診率が高まるかというような説明で、まだはっきり目に見えて何%向上したと言えないような状況です。

【眞板委員】

ありがとうございます。パーセント見ても、徐々に上がっている所以他のものにも展開できるのかなと思ったので確認させていただきました。

【磯貝委員】

確認させていただきたいのですが、12ページの全体評価の中で健康寿命の延伸と医療費適正化に向け情勢を踏まえた上で、目標値達成に向けて適切な実施体制整備等に努めていくとありますが、健康に関するマンパワーがないとこれらの事業はなかなか推進しにくいのではないかと思います。現在、保健師さんとか栄養士さんとか、それぞれの専門職の方がおられると思いますが、実施体制等で何か懸念があるとか、あるいはこういう事業についてはこういう人たちを採用していくとか、実施体制について方策とかはあるのでしょうか。

【鈴木国保給付係長】

確かに昨年度は特定健診の受診率がいろいろ工夫をしてやっていた中で、どうしても落ちていたしまったということが非常に残念ですけれども、おっしゃられた通り人手不足というのは正直あるかと思っております。

あとは市役所の中で異動があることで、長く継続していくという難しさは感じております。

【磯貝委員】

ありがとうございます。実は、私も以前それと係わる形で職務についたことがありまして、保健師から言われたのが、訪問指導が大事だと話をされておりました。今、コロナの中で訪問指導がなかなか出来ないうえに、実際、個別的に相談を受けると、色々なアドバイスもできるとおっしゃっていたところですが、ただマンパワーが足りませんと言われたということがありました。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

【齊藤委員】

質問というより要望になりますが、私、商工会議所におりまして、市内全域で3400事業所のうち50%の1700事業所ほどが会員となっております。その方たちが健康診断事業をやらせていただいております、その健康診断事業で前はここのふれあい館で実施をしてきたのですが、こちら新事業とか、相談事業などで場所を使っているので、今は市民体育館、視聴覚室などお借りしています。

その中で、市の方も色々な公的施設で色々な事業をやられているので、どうしても被ってしまうことが出てきてしまいます。今は何とか調整をしながら、譲っていただきながら実施しておりますが、なかなか難しいところがありますので、ぜひ、市の方でも御協力いただくような体制をとっていただければと思っております。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

【藤田委員】

特定健診の受診率ですが、下がってはいますが微減でコロナ禍が少し落ち着いてきたとはいえ、維持されているのは様々な努力をされているのかと思っております。

資料の12ページに令和4年度の実施状況で集団検診とがん検診がコラボしたと書かれていまして、特定健診も重要だと思いますが、がん検診も重要でして、受診者の方からすれば、1日どちらも済んでしまうのであれば有難いのかと思いますし、相乗効果で受診率が向上するかと思います。実際にこれはかなり好評だったのか、それともそうでもなかったのか、または、実施するのが困難だったなど教えていただければと思います。

【鈴木国保給付係長】

藤田委員ありがとうございます。個人的に感覚としてはコラボ健診が有効だと考えております。

来ていらっしゃる方からの「便利だった」という声もいただいております。また、今回取組としては、ホームページから申し込めるようになっていて、時間も大体15分ぐらいで分けていらっしゃるようになっていただくようにしております、待たずに便利だったという声もいただいております。

あと、大変なのは、時間を区切っていたとしてもお待たせしてしまう時間があったりだとか、あとは、誘導で3種類ぐらい検診がありますので、違うところに行ってしまうようになど細かい心配はありますが、今後も続けていけたらと思っております。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

【石井委員】

今回、12ページのPDCAの評価のところが大変見やすくなっていて、一目でわかりやすい表だと思います。私のほうも、これに基づいて、いろいろな質疑ができるということで、これについてはまたよろしくお願ひしたいと思ひます。

その中でちょっと違う観点ですけども、この特定健診や保険指導の関係で、ハガキですとかでお知らせするというのですが、各個人の個人情報の特に携行面については非常に、実は気を使うところだとは思ひております。外部業者に頼むときは当然のことながら個人情報保護に対する、協定など結んでいるとは思ひますが、一つ漏れてしまうと、自分の健康がどうなっているか1番すぐ知られたくない情報だと思います。ぜひ、こちらにつきまして、細心の注意を払っていただく事を、ぜひ、お願ひしたいと思ひます。

それと、最後に上総地区が受診が少ないという、そういうお話を聞いております。実は私今現在、上総地区に住んでおまして、状況から言ひますと、どうしても受診をする場所が遠い場所になってしまうことで、動くのにちょっと面倒だなという気持ちがあるんじゃないかと思ひます。これは一つの方法ですが先ほど言ひました、例えば、取り混ぜて、がん検診と何かを一つなど、セットにしなから1回でそういう公共施設、コミュニティセンター等が利用できれば、行く方も考えていけるんじゃないということで、参考として、述べさせていただきます。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

【蒔田委員】

11、12ページのところの関係で、特に早期介入の保健指導は健康づくり政策につきましては、将来の医療費の抑制という観点から見れば、非常に効果的で、また、大切などころかと私も思ひております。この若年層の受診率を向上させるための、手段とい

たしまして、来年度、改善策の中に、SNS発信の活用ということですが、どんな媒体を想定されているのか、何かこうイメージや既に計画されているようなものがあるならば、教えていただければと思います。

【寺北健康都市推進室長】

若年層の健診ということで、18から39歳の健診をやっております。周知を図っていく手だてですが、ホームページとか市の広報紙に加えて、やはり若い方はSNSの方がなじみがあるというところかと思っておりますので発信については力を入れて行っていくと考えております

また、市の保健事業で、母子関係で乳幼児への事業など、他の事業の中での若い方へのチラシだとか、加えてそのほかの方法についても、さらに検討していきます。

【加藤議長】

ほかに質疑のある方はございますか。

それでは、質疑もないようですので、引き続きまして、報告①君津市国民健康保険条例の一部改正について執行部の説明を求めます。

【開田国保年金課長】

— 別紙資料により説明 —

【加藤議長】

以上で、執行部の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

それでは、質疑もないようですので、その他、委員の皆様から何かございますか。

— 委員 その他なし —

【加藤議長】

執行部からその他として何かございますか。

— 執行部 その他なし —

【加藤議長】

それでは、ないようですので、以上をもちまして、令和4年度第2回君津市国民健康保険運営協議会を閉会といたします。ありがとうございました。

(散会 午後3時00分)

議事録署名人 君津市国民健康保険運営協議会

会長 加藤 美代子